

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム 桜の園
作成日 平成21年10月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者や家族からの意見については、ご家族の訪問時に聞き取ったり、運営推進会議等で意見を出していただいている。しかし、ご家族の訪問は不定期であり、また利用者によっては、ご家族が県外に住んでいる場合もあり、すべての利用者が、家族だけで話し合える場は設定されていない。	すべての利用者及びご家族から意見を出していただき、運営に反映させる。また、家族同士で話し合える場を設定する。	利用者の意見を公平に汲み取り、適切に運営に反映させるためには「家族会」の設置が望ましいと思われるが、利用者のご家族は近くに住んでいないケースが多く、円滑な会の運営は難しいと思われる。よって、毎月、ご家族に近況報告を兼ねてお手紙を出す際に、事業内容を明瞭に説明するとともに、アンケートで意向調査をするなど、ご家族から意見を出しやすいような雰囲気づくりに努める。また、イベント開催時には家族同士の親睦を兼ねた交流会を実施する。	平成21年12月家族交流会実施予定。
2	33	重度化した場合や終末期のケアの方針については、事業所で定めたものを、契約書に盛り込み、ご家族に理解していただいているが、現実にそのようなケースに遭遇した場合の対処方法については具体化されていない。	利用者の多くは90歳を超えた高齢者であり、日々変化する心身の状態に応じて、家族のケアに対する意向も変わってくる。重度化した場合の対応について、ご家族と定期的に話し合いをする。	入居時だけではなく、利用者の状態の変化に応じて、具体的にどのような対応を望んでいるのか、ご家族と話し合うために、かかりつけ医及び看護師を交えた話し合いの場を持つ。	医師・看護師を交えた話し合いの場：平成22年1月実施予定。
3	47	利用者一人ひとりの薬は明確に仕分けして管理しているが、介護職員の中には副作用や用法・用量についての理解に乏しいものも多く、また、確認不足から誤薬や飲み忘れに至るケースがある。	職員は、適切な服薬管理ができるようにする。	適切な服薬管理には、患者さんの疾患及び日々の健康管理を正確に行う必要があることから、医学の基礎を学び、疾患に応じて、代表的な薬品名の薬の用法・用量及び副作用について学習会を実施する。	服薬管理の勉強会：平成21年12月実施予定。
4	14	現在、土佐清水市グループホーム連絡協議会が発足して隔月の会合を持っている。会では困難事例などを話し合い、サービスの向上に取り組んでいるが、出された意見については、その場限りで収縮してしまい、その後の経過が不明確になるケースもある。	連絡協議会では、単なる報告や連絡にとどまらず、具体的な事例を交えた勉強会を各事業所が持ち回りで受けるなど、活発な運営を通して質の向上につなげたい。	連絡協議会には管理者だけではなく、職員も積極的に参加して自己研鑽に励むとともに、自分たちの事業所をよくするためにどうしたらよいか、発表の機会を設けて、自発的な姿勢を評価する。	職員の発表会：平成21年11月実施予定。
5	54	入居者の居室は、当施設が新築であるゆえに汚れてはいけないと遠慮しているのか、利用者によっては、馴染みの家具や装飾品を持ち込んでいないケースもあり、家庭的な雰囲気づくりが十分に図られていない。	利用者に馴染みの小道具や装飾品を持ち込んでもらい、好みにわせて写真や絵画を掲示するなど家庭的で居心地の良い雰囲気づくりを実現する。	居室スペースが殺風景にならないように、また、利用者の好みに合わせて室内を装飾できるように、壁面にコルクのボード（60cm×90cm）を設置して、家族から届いた写真や手紙を貼り付けつなど、自由に活用していただく。	コルクボードの購入：平成21年10月6日設置予定。

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。